

年少児童に対する防災教育の実施（西条市）

【取組概要】

- ☆西条市実践防災計画及び教育基本方針の一つとして位置づけ、災害に強いまちづくり、安心・安全な学校・地域作りを行う事業として実施。
- ☆小学校6年生を対象に年間を通じて防災教育を実施し、より確かな社会性を身に付けさせ、将来の西条市を担う若者を育成する。
- ☆防災を題材とした教育プログラムの開発、実践。
- ☆ベトナム国フエ市で防災教育プログラムの開発、実践支援事業を実施(H23～25 JICA草の根技術協力事業)
- ☆災害回復力調査結果(H26.9 京都大学地球環境学堂・西条市教育委員会)全体3.05(小学校3.13 中学校2.85)教職員4.09 ※5点満点

人口 112,363人

担当部署 教育委員会学校教育課
事業実施期間 18年4月～

取組事例のURL
<http://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/gakkokyoiku/gk0021.html>



平成26年度第1回子ども防災サミット

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

- ・1年間を通して防災に関する取組を行い、自ら課題を見つけ解決する手法を学ぶ。
- ・子どもを通して保護者や地域の方への防災意識を高め、災害に強いまちづくりを推進する。
- ・西条市の防災活動が国連の冊子に掲載されたり、JICA事業を活用した支援事業による国際貢献の場へと活動を広げている。

- ・京都大学大学院地球環境学堂と教育研究交流協定(H19.12)
- ・他学年への広がりや校種間連携、地元団体との連携強化
- ・京都大学を介して、また市で締結している防災協定を通じた被災地自治体との交流の可能性(宮城県気仙沼市、福島県相馬市)



平成26年度子ども防災キャンプ